

教員名	安成 英樹 (YASUNARI Hideki)
所 属	文教育学部人文科学科形象分析学講座
学 位	文学修士 (1990 東京大学)
職 名	助教授
URL / E-mail	hy@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

フランス近世史 / 国制史 / 官僚制 / 宮廷文化 / プロソポグラフィー

◆主要業績

総数 (1) 件

- ・安成英樹「フランス絶対王政期における官職売買制度の展開とその再検討」
(平成 16～18 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書、2007 年 3 月、1～56 頁)

◆研究内容

フランス近世国制史の研究。とくに絶対王政期の官僚制度（官職売買制度）を中心とする権力構造や、宮廷を舞台に展開する儀礼の分析を通じて、当時の統治システムとその有効性を検討する。

具体的な研究課題としては、

1 絶対王政期の官僚制の考究……国王権力の重要な柱である官僚制について、その二大類型たる官職保有者（官職を金銭で購入した人々）と直轄官僚（国王によって任免可能な官僚群）、この両者の特質を分析し、当時の社会に深く根を下ろしていた官職売買制度の実態に迫る。

2 権力を補完するものとしての権威構造の解明……支配の実際の脆弱さを補うものとして、国王を主体に展開された各種儀礼（宮廷儀礼、国家儀礼、メディア戦略など）の具体的分析を行う。

平成 18 年度は、1、2 が交錯する宮廷の具体的、網羅的な構造分析を行った。その結果を科研費基盤研究(C)「フランス絶対王政期における官職売買制度についての展開とその再検討」の研究成果報告書としてまとめ、刊行した。

◆教育内容

学部の特講では、昨年度に引き続き、現在の主たる研究テーマである宮廷とその儀礼的世界、およびより公開性を帯びた国家儀礼（とくに聖別式）を取り上げた。フランス国王の日常生活とその極度の儀礼化（起床の儀等）、またランスで行われる国王即位式＝聖別式、付随して行われる療瘡治癒儀礼などを詳細に追った。学部の演習では、18 世紀フランス末の社会について、ルイ 16 世の評伝をテキスト、材料としながら検討した。これ以外にも、主として 2 年生向けの外国史論文講読、全学年対象の西洋史概説、フランス語テキストの輪読を行う歴史情報論（外国）などの授業を担当した。大学院の演習では、ル・ロワ・ラデュリの研究書をテキストにしてフランス宮廷の位階秩序の分析を行った。また、学部 4 年生のなかで西洋史分野で卒論を書く学生（8 名）についての指導を行い、博士前期課程学生 2 名の修論副査を行った。

◆共同研究可能テーマ

- ・儀礼の比較研究
- ・統治構造研究
- ・政治文化論

◆将来の研究計画・研究の展望

フランスの宮廷の構成メンバーの計量的分析を行うことでその集団的特質を析出し、当時の宮廷の果たしていた社会的機能について検討する。また、従来からの官職保有者についてさらに研究の進展を図り、あわせて絶対王政期の権力と権威の問題を深く掘り下げる。

◆受験生等へのメッセージ

大学で学ぶ（ことのできる）歴史は、暗記中心の高校のそれとは違います。年号や固有名詞を覚えることにあまり意味はありません。ある時代のさまざまな事件、あるいは社会そのものがどうして生成されたのか、自分でテーマを見つけて材料を集め、自分で考え、自分なりの解を見出すものです。そのために、大学で歴史を勉強したい人には、できるだけたくさん（必ずしも歴史関連のものに限りません）を読み漁ってほしいと思います。そのうえで、自分の取り組みたいテーマを見つけ出せばいいのだと思います。したがって卒論は自由にテーマが選べます。やれるかどうかを含めアドバイスはしますが、基本的に自分がなにを取りあげ、調べてみたいのかが重要なのです。